

発行所 こだいらの未来を考える会

代表 岩本 誠 〒187-0042

小平市仲町210-2-203

小平市議会議員

https://kodairaiwamoto.com

kodairaiwamoto@gmail.com

080-1269-2770



# こだいら未来新聞

2024年(令和六年)

号外夏号

立憲民主党  
The Constitutional Democratic Party of Japan

## 小平市、小中学生給食費 無償化へ

### 小平市の決断に向けて

令和6年6月4日開会の小平市議会定例会に、補正予算第1号として、小中学生給食費を無償化の対象範囲を拡大する件が盛り込まれた。フォーラム小平(岩本誠市議所属会派)からも市長宛てに緊急要望書を提出していたものである。

小平市は、第3子以降の子ども給食費を既に無償化していた。隣の西東京市で令和6年度当初から市立小中学校の給食費無償化が始まり、小平市民の期待が強まる中、同市は市立小中学生給食費無償化を議会へ提案した。

また同時に、アレルギーなどで弁当持参せざる得ない児童や生徒向けには給食費相当の補助をするといったきめ細やかな対応も追加されている。給食費は同市試算では、一人あたり年額約5万〜6万6千円徴収されていた

ものが、無償となれば家計にも大いに優しい施策となる。

東京都が一月十一日に表明した区市町村の給食費支援の半額を補助するといったことがきっかけとなり多摩地域でも無償化が拡がった。小平市では今年度は財政面での目途がつき、大幅な前進となり会期最終日に採決されることになる。

但し、この無償化施策は義務教育の学費と同様、ベーシックサービスとして国の責任で進めるべきものである。居住する市町村によらず実現するよう、小平から発信し、国会での議論が進むことを期待したい。



給食センタ見学時撮影2023/5/17参考

## 不登校児童生徒の健康診断について

令和6年5月17日NHKおほよう日本にて大阪府吹田市の取組が紹介されたため、小平市での対応状況を確認した。

小平市の市内小中学生の不登校生徒の人数は小学生で91人、中学生で270人(令和4年度末)。このこともたちが、定期健康診断を受けているのかわかると、6月5日一般質問に取り上げた。

主な質問とその答弁を左表にて整理した。

### 大阪府吹田市の主な取組紹介

項目	一般的問題点	吹田市の対策	小平市
対策1 費用負担	学校外で受診は保険適用もなく全額負担となる	学校外の健康診断費用を市が全額補助	実現済
対策2 個別受診の改善	内科眼科耳鼻科歯科の4つの医院を回ることが必要となり不登校児、生徒に負担が多い	医師会と協力し内科、眼科、耳鼻科をまとめて内科で受診できる仕組み構築(歯科は個別)	できない
対策3 学校区以外の医院の選択	通常学校区を指定するが近所で受診困難な場合が多い	自分の学校区以外の医院も選択可能	実現済
対策4 受診期間の柔軟化	6月末までに受診せねばならない	7月から9月末であれば予約自由	年度末まで受診可能

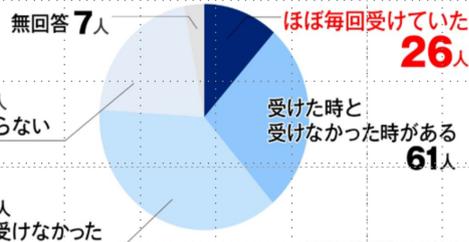
NHK おほよう日本 2024年5月17日より引用

### 不登校児の健康診断調査(参考)

NHK おほよう日本 2024年5月17日  
大阪府立大学大学院 石田まり資料引用

#### 不登校児の健康診断(2017年)

不登校経験者225人への調査



大阪府立大学大学院 石田(三穂)まり

徒について個別把握しているとしている教師の未受診者へのフォローが現場の努力に任せきりになっていないか。標準化されているのか。受診案内書が通常の手紙に紛れていないか、受診について保護者に任せきりになっていないかも気になる。

不登校経験のある大阪府立大学(現大阪公立大学)大学院生の石田まりさんは、不登校児の健康診断に関する調査論文にて、ほぼ毎

説明しよう



# 食物資源循環事業について

小平市の生ごみを循環させて堆肥化する事業を紹介する。令和5年度末で千2百54世帯参加、年間約千3百億円費用を要しているもの。今回5月21日から自ら参加体験し、その障壁を低くしたいと考えて一般質問に取り上げた。

障壁の1点目は、事業の認知度が低いことであり、愛称募集や施設見学等提案したところ、

ろ、わかりやすい通称を併記する等検討いただくことになった。例えば、**生ごみ堆肥化事業**というのでも有効だろう。名前で実態がわかることは重要なことだ。

2点目は、事業参加に3世帯以上で団体を組んで集積所を一つ決めねばならないこと。ゴミの個別収集が進んでいる現在、共働き世帯にとって回収後のバケツを集積所に放置す

ることが気になるところである。

3点目はバケツ購入の壁である。各自で蓋つきバケツ10リットルのものを用意するのだから量販店にいっても容易に密閉型のバケツは見つからなかった。その他含め、7つの壁と改善策を提案した。この事業は現在、ゴミ減量化と循環型社会の形成に有効な施策と位置づけられている。参加

世帯の目標値は千三百件で多すぎても処理費用が跳ね上がるため諸々バランスをとって考えなくてはならない。

## 補正予算1号

令和6年6月4日開会の小平市議会定例会に、補正予算第1号が提出された。会期最終日に採決される。その内訳をみると、

- 小学校・中学校の給食費無償化に対して約6億4千5百万。
- PFOS等地下水調査百37万。小平市から調査ポイントを12か所追加して実施する。

## 食物資源循環事業とは

- 事業内容  
生ごみを入れたバケツを週1回集積所に出し、回収後にバケツを持ち帰る。
- 回収日  
3地域に分類、東地域/火曜日、西地域/水曜日、中地域/金曜日
- 申込み  
市内3世帯以上でグループを作り、敷地内に集積所を決めて、代表者が申込みをする（先着順）。参加が決まると、分別一覧表などを代表者にお届け。参加者に、できあがった堆肥を年2回配布される。
- バケツの用意  
10リットル程度のフタつきバケツをご自身でご用意ください。市販のバケツを用意いただくか、この事業専用のバケツを購入することも可能。専用バケツ購入の場合、半額の購入費補助金がでる。

小平市HP 食物資源循環事業 参加世帯を募集 記事より作成

## 参加申し込みの7つの壁（声なきこえをきいて）

複数の壁	原因など	壁を下げる提案
1 制度がわからない	市報で紹介されているが記憶に留まらない	事業の愛称を募集して広報の充実 工場見学会開催
2 3世帯の壁	自治会総会で紹介するが集まらない理由は ①日中不在（共働き）②生ごみを他家に置くことの抵抗あり	2世帯に壁を1段下げたみる
3 バケツ購入の壁1	専用バケツ（4000円）以外にも汎用蓋つきバケツで対応可能というが、大手量販店にいっても蓋つきバケツが見つからない	ネット通販大手A社で1000円で購入可能の旨、 具体的事例周知する
4 バケツ購入の壁2	専用バケツが高い（購入の場合、半額の購入費補助金あり）	汎用バケツも半額補助で推進
5 バケツ購入の壁3	リサイクルセンターで購入できない、通販は3つ以上でない送料必要	リサイクルセンター一括代理購入できないか
6 申込手続きの壁	リサイクルセンターに行かないとできない？	申し込み方法多様化する（ネット申し込み等）
7 ターゲットの壁	ターゲットを見直す	年2回いただけの堆肥を欲しい人（市民菜園、体験農園）にプレゼン・自治会総会時期に合わせた募集。（農業振興との連携）

## 小平市の人口

令和2年国政調査に基づく小平市の将来人口推計が令和6年1月発表された。新たな推計によるとピークは令和12年に20万3千人になる予測とのこと。人口問題はミクロ検証も必要で、今後町名別に分析し公共施設マネジメント計画等に反映していくことになる。花小金井駅周辺のマンション開発一部仮定値として盛り込んでいるが常に事業者の状況等を掴んで、特に小学校中学校の教室不足にならないよう注視していきたい。

## 乗り合いタクシー開始

南西部エリアの乗り合いタクシーが6月10日から開始された。料金は大人300円、子ども50円。利用できる時間は、土日を除く①国分寺線の東側エリアは水曜金曜、②国分寺線の西側エリアは月曜火曜木曜。各エリア内の運行。様々な制約を抱えながらであるが試行運用が始まった。スマホからの予約、電話での受付も可能である。

## 小川駅西口開発事業

小川駅西口開発、工事が令和8年8月施設建物引渡し予定で進んでいる。高さ98m地上27階の高層マンションになる。西口の賑わいのポイントになるだろう。まずは事故なく安全に施工されることを望みたい。

## 編集後記

学生の頃、救急車のサイレンが近づいてくると、空気の波が圧縮され揺れる回数が増加し、高い音に聞こえ、通り過ぎると、低い音に聞こえることを、ドックプラー効果と習った。最近救急車のサイレンが、少々変わったので調べてみると、新型車種から、従来のサイレン音に和音を混ぜることで音を低くし、音量は変えないまま不快感を軽減することを目標に設計されたコンフォートサイレンが追加されたらしい。▼生活する中で当初ストレスに感じて、慣れてしまうと問題点を見失うことも多い。これまでに市民の皆様から預かって対応できたこともあるが、保留していること見を聞いて問題の本質をしつかりとらえて改善できる政治を目指したい。

▼この文章を書いている、今まさに、救急車が目の前の道路を通過していった。

## お気に入り写真

趣味のコーナー  
これまで私が撮りためた写真を紹介します。こだフォト部の毎月一回月例会にも参加し皆で精進しています。興味ありましたら、お立ち寄りください。  
毎月第三（夜七時）中央公民館にて、



<プロフィール>

- ・市議会議員 岩本誠
- ・1963年元旦伊丹市生まれ
- ・高校時代ラグーマン
- ・ふるさと大阪府吹田市と滋賀県甲賀市
- ・東日本電信電話㈱OB